

【2日目 / 5月23日 (つづき)】



竹富島では、港から集落を抜けて、一気に「星砂の浜」を目指したのですが、どうも一番近道ではなく遠回りをしてしまったようです。しかしその道も素朴な風景で、ちっとも疲れませんでした。



集落を抜けると、あとはゆるい下り坂の、海へと続く道です。途中、チョウを何種類も見ましたが、ほとんど名前がわかりませんでした。

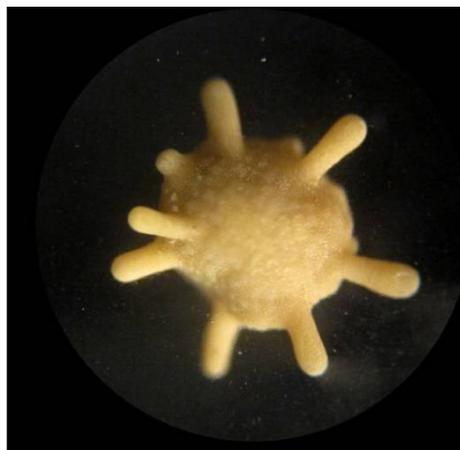


集落からゆっくり30分ほど歩いて「カイジ浜」に付きました。港から見ると、ちょうど島の反対側に位置する砂浜です。



ここは「星砂の浜」として有名です。星砂というのは、岩石が風化してできた通常の「砂」とはちがひ、「有孔虫」と呼ばれる小さな海洋生物の「殻」または「化石」のことです。海岸の砂のすべてが星砂というわけではなく、竹富島のカイジ浜では、相当に根気よく探してやっと数粒見つかる・・・という程度の混ざり具合でした。

星砂(有孔虫の殻)には主に2種類があります。星の形「★」に近い「バキュロジプシナ *Baculogypsina*」と、球形に棘の生えたような「カルカリナ *Calcarina*」



です。写真はカルカリナの顕微鏡写真です。特別な方法で「立体視」ができるように撮影しました。竹富島の星砂はバキュロジプシナ：カルカリナが1：5ぐらいで、カルカリナのほうがずっと多いようです。



思ったほど星砂を拾えなかったのですが、仕方なく靴に入っていた「あんパン」を、星砂の形にかじって、それを記念撮影しておきました。



時間的には港まで歩いて、石垣島行の最終に十分間に合ったのですが、この日は結構HS（ハードスケジュール）だったので、帰りはバスに乗ることにしました。幸いカイジ浜の目の前にバス停があります。このバスは竹富島唯一の公共交通機関です。1時間に2本ほど発車するのですが、発車時刻の15分前までに予約が必要という点が注意です。私は16:57発の最終便を電話で予約しておきました。



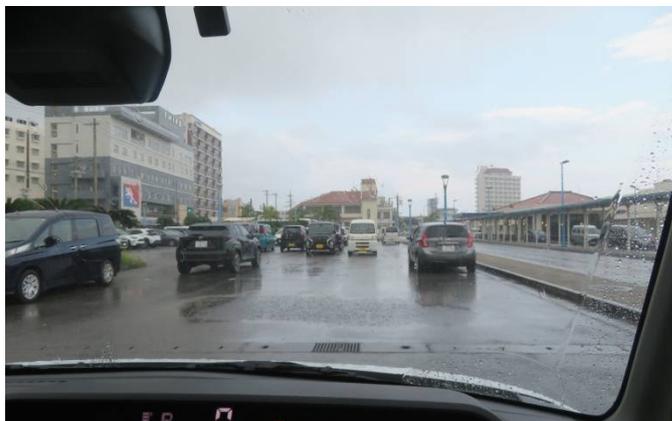
バスが来るまでは、砂浜の木陰のベンチで海を見ながら休んだり、スケッチをして過ごしました。今回の旅行で一番ゆったりとした時間だったと思います。



時刻表通りにマイクロが来てくれました。このバスはどこまで乗っても1回300円です。タクシーよりずっと安いので、旅行者には助かります。もう一度集落の風景を見たかったのですが、集落のバス停での乗降客の予約が入っていなかったようで、外周道路を走って一気に港に着いてしまいました。



今日最後の船（17:50発、石垣島行）が入ってきました。この船も満席に近い盛況でした。



石垣港の駐車場にレンタカーを停めていたのですが、突然の豪雨でした。やはり東京の「梅雨」とは雨の降り方が全くちがいます。長いような短いような一日でした。明日は「与那国島」を訪れます。